

分科会開催報告書

報告日 令和3年 7月 1日(木)	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 148回 浮雲俳句会
開催日時 令和3年 6月 27日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 浮雲俳句会会員 男9名 女5名 合計14名 欠席者 0名	

実施内容

第148回例会は、兼題 生活・宗教（仲夏）の中から1句。当期雑詠3句。合計4句。
句会は、はじめに、会の進め方の確認。“わ”の会のホームページの変更及び会の保存内容と、年間スケジュールの説明があった。句会は、鈴木勇平会員による選句の披講の後、全会員それぞれが、特選句に選んだ句の選評をした。続いて選者による秀句3句の発表と選評を行った。その後、月当番による添削披露や、作品に対する質問や意見を述べ合った。最後に、全員で特選句7句を選んだ。

特選句	路地奥の軒向き合ふて吊忍	二 祥
	かたつむり不要不急の旅にでる	勇 平
	山門に入れば浄土や時鳥	重 九
	蚊遣焚く煙の中に父の影	とも女
	七十路の独り居飾る古簾	二 幸
	万緑に浸り自肅の身をほぐす	十 九
	暮れ泥む古道の四葩風青し	とも女

選者による秀句	泣き寝入る子の涙あと遠花火	春 駒
	名をかへよ凜と気高き鉄砲百合	和 女
	短夜や色取り空ろネオン川	二 祥

次回の予定

令和3年7月25日(日) 午前10時～12時
「第149回例会」は、いきいきセンター晴嵐かなざわ
兼題は、「文」を入れた一句。他に当季雑詠3句。合計4句。
披講 鈴田祥代会員